

市民参加型まちづくり1 %システム（令和7年度3次募集） 審査結果 【一般部門】

事業 番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 （円）	採点結果		採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 （円）
						合計得点 （平均）	基準に満たない 審査項目		
1	継続	弘前大学将棋部	第4回弘大カップ	将棋を始めた子どもたちのステップアップの場、ひいては将棋コミュニティへの参加のきっかけとして子ども将棋大会を開催する。将棋コミュニティを活性化・多世代化することで、大会を終えた後も子どもと大人が仲良く交流できるまちを目指す。	132,000	73.7		○	132,000
2	新規	弘前ねぶた参加団体協議会	弘前ねぶた参加団体協議会 創立30周年記念誌作成事業	弘前ねぶた参加団体協議会創立30周年の節目として、今日まで取り組んできた重要無形民俗文化財「弘前ねぶた」の伝統と先人達の創意工夫を記録として残し、次世代の弘前ねぶたまつりの指標となるように記念誌を作成し配付する。	469,000	77.4		○	469,000
3	新規	KUJIRA CINEMA	KUJIRA CINEMA 映画祭	かつて映画文化が根付いていた弘前市で映画の上映会を行うことで、再び「誰かと観て、誰かと話す」体験を重ねることによって、市民が世代や立場を越えて気軽に語り合える場を育てる。また、映画を通して人とつながることができる場づくりを行う。	292,000	73.3		○	292,000
4	継続	弘前大学スティーλπバン部	弘前スティーλπバン・フェスティバル2025	ドラム缶から作られる旋律楽器であるスティーλπバンの魅力を多くの市民に伝えるため、ワークショップやコンサートを開催する。ワークショップ受講者は、小型スティーλπバンの製作及び団体メンバーと共にコンサートでの演奏を行う。また、コンサートを広く市民に聞いてもらうことで、スティーλπバン文化の裾野を広げる。	438,000	71.9		○	438,000
5	継続	こどものまちミニひろさき実行委員会	こどものまちミニひろさき vol.9	小学1～6年生だけが「市民」になり、学校区や学年の枠を超え「遊びと体験のまち」を創り楽しむプログラムを行う。子どもたちは活動を通して、主体性と創造性、市民性を育み、また、中高生・大学生・大人がサポート役として関わることで世代性を育む。	307,000	84.7		○	307,000
6	継続	弘前レジェンドを語り継ぐ会	「ドラえもののうた」を聞いて歌って伝えよう	弘前市出身の作曲家である菊池俊輔の功績を市民に知ってもらうことを目的に、親子向けのイベントを開催する。イベントでは、「ドラえもののうた」を歌う歌手をゲストに迎えて生で歌を披露してもらうほか、参加する子どもたちと一緒に合唱や演奏も行う。また、現在観光館で展示している菊池氏の遺品展示を増やし、ロビーなどを使った展示も行う。	500,000	81.2		○	500,000
7	新規	Catch On Everywhere	考えて発見をする野球教室	野球を主とするスポーツの体験にテクノロジーを加えることで、スポーツのコツやトレーニング方法に対する発見、自分の能力や映像を新しい視点やデータで見たことによる発見、スポーツの楽しみ方に対する発見を市民に提供する。発見による楽しさを体験することで、スポーツの生涯の継続に寄与する。	500,000	54.1		×	0
8	継続	学生団体 OTAKIDS	Minecraft カップ運営委員会がやってくる！～マイクラフトから学ぶプログラミング的思考～	マイクラフトが単なるゲームではなくプログラミング的思考を学べる教育教材であることを知ってもらうため、Minecraftカップ運営委員会の協力のもと、実際に製作を行うワークショップと、初心者向けに教育版マイクラフトの体験会を実施し、弘前市のICT教育の推進につなげる。	471,000	83.5		○	471,000
9	新規	東地区ちいきの絆食堂	きずなカフェ	地域の誰もが参加できる多世代交流の拠点づくりとして、城東団地集会所において「きずなカフェ」を月に1回開催する。世代や性別などの垣根を超えて、食事をともにしたり勉強を教えてもらったりなど、思い思いに過ごすことで、互いに認め合い支え合える温かい地域づくりを目指す。	199,000	81.7		○	199,000
10	継続	NPO法人harappa	「harappa 放課後こども美術室」	小学校の図画工作の授業の減少や文化部系の部活動の減少により、児童が美術に触れられる機会が減少していることから、放課後の小学生を対象に、美術に触れるワークショップを開催し、自己表現の楽しさに気づく機会を提供する。	304,000	81.0		○	304,000
合計				10事業（新規4事業 継続6事業）	3,612,000	—	採択 9 事業 不採択 1 事業	—	3,112,000

※スタート部門を活用したことがある場合は、継続事業となります。

事業 番号	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 (円)	委員からの意見・アドバイス
1	弘前大学医学部公認サークル アスライフ	弘前Kids まなぼう！からだとけん こう	子どもたちが医療を身近に感じ、健康や命の大切さについて考えたり、進路 や地域社会への関心を高める機会を創出するため、弘前大学の医学部生が中 心となり、医療職の仕事やからだのしくみ、健康について楽しく学べる体験 型イベントを実施する。	100,000	○	100,000	・適宜好きなコーナーから自由に体験していただくという点について、自由度は高いと思う一方で、候補となっている会場 は他の利用者もいる開けたスペースであり、子どもたちが走り回ったりしてしまうと危険なので、配置や運営の仕方を工夫 する、子どもたちの同線を考えるなど、子どもの特性や会場の特性に気を付けながら事業を組み立てていただきたい。 ・「親子で手洗いチェック」コーナーについて、水道は離れた場所にあると思うので、いつどう洗いに行くのか、「からだ のふしぎ」コーナーで、粘土を触った手をどうするのかなど、問題なく運営できるよう、検討していただきたい。
2	楡木町会	挑戦しよう干し餅作り	年々、町会内での交流が希薄になってきていると感じるため、干し餅作りを 学ぶイベントを開催し、普段なかなか会話をする事のない町会の方々と意 見を出し合ったり、おしゃべりすることで交流を図るもの。また、津軽に 伝わる干し餅について、近年は作る人もなかなか見かけなくなり忘れられつ つあるため、身近に感じ、興味を持ってもらうことを目指す。	100,000	○	100,000	・参加者が各自持ち帰るだけではなく、町会の総会などで実際に作った干し餅を配ることで、地域のみんなで作った報告 や、話題にもなると思うので検討していただきたい。 ・お餅を切ったり、編んだりする作業については、子どもたちにその姿を見せるなど、参加者以外にもたくさんの地域の 方々が関われるように工夫をしていただきたい。 ・事業に若い人を巻き込んでいくために、10種類の干し餅を用意するなど工夫されているので、その工夫が実るように、 事業の告知などでしっかりと情報が伝わるように頑張ってください。 ・交流を図っていく中で、地域の課題は何なのか、今後も交流を図っていくためにはどのような事業ができそうかなど、次 につながるような交流をしていただきたい。
合計			2事業	200,000	採択 2 事業 不採択 0 事業	200,000	